



学校教育目標

児童生徒一人一人の心身の状態の理解のもとに、その能力や適性に応じた発達を支援し、社会の一員として生涯にわたって豊かな力を持ち、意欲的に生きる力を備えた児童生徒の育成を目指す。

自立

意欲

思いやり

目指す学校像

☆子どもの能力を伸ばし、可能性を大切にする学校
 ☆子どもの気持ちを大切にする学校
 ☆地域の特別支援教育について共に考え、地域のニーズに応える学校

育成を目指す資質・能力

○言葉の働きや役割に関する理解 ○社会生活やきまりについての理解
 ○自然や音楽を愛する心情 ○生命を尊重する心 ○自己の気持ちを表す力
 ○仕事への関心 ○自己の感情をコントロールする力 ○生活に必要な習慣・技能
 ○他者を思いやる心 ○安全のための行動 ○望ましい食習慣 ○運動への親しみ

学校経営方針

心豊かに生き生きと学ぶ子ども

- ①人権の尊重
- ②感性・思考・行動の理解・受容
- ③実態把握に基づく具体的な目標設定
- ④「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の活用
- ⑤「生きる力」を育む健康づくり
- ⑥自己有用感を高める授業

家庭・地域・関係機関と共に歩む学校、社会に開かれた教育課程

- ①家庭との連携・協働
- ②学校評価制度や学校評議員会等を通じた学校経営の改善
- ③地域での共生を見据えた交流
- ④積極的な地域資源の活用
- ⑤関係機関との連携強化
- ⑥特別支援教育への理解・啓発

安全で安心な教育環境

- ①防災体制の整備
- ②科学的・専門的知見に基づいた危機管理体制の構築と対応
- ③児童生徒の配慮事項の正確な把握
- ④心身の健康問題への早期発見・早期対応
- ⑤円滑な医療的ケア業務の遂行

学校教育に責任と誇りをもって働く教職員

- ①教育公務員としての責任と自覚
- ②教職員相互の協力体制づくり
- ③よりよい職場環境づくり
- ④専門性や指導力の向上
- ⑤業務の改善、効率化
- ⑥教職員のワークライフバランスの確立

本年度の重点(一部)

- 「あいさつ」の指導 ○適切なアセスメントに基づく指導 ○生活単元学習における工夫した授業づくり ○タブレット端末の活用
 ○子どもの成長・発達を促す修学旅行 ○コロナ禍の中での充実した学校生活